資 料 ３

尾身科学技術政策担当大臣のロシア及び ＩＡＥＡ（国際原子力機関）の出張報告について

平成１４年９月２６日

【ＩＴＥＲ（国際熱核融合実験炉）関連】

１．ベリホフ・ロシア クルチャトフ研究所総裁
（ＩＴＥＲ調整技術活動評議会議長）

・青森県六ヶ所村がサイトとして優れている点、参加国の資金分担に関する我が国の考え方を先方は支持。
・先方より、サイト選定は首脳レベルなどさらに高いレベルでの議論をすべきと指摘。

２．ルミャンチェフ・ロシア原子力大臣

・青森県六ヶ所村がサイトとして優れている点、参加国の資金分担に関する我が国の考え方を先方は支持。
・米国が政府間協議にオブザーバーとして参加するとの当方の考え方を支持するとともに、ロシアとしても米国が復帰できるよう引き続き努力する旨の発言があった。

３．コロンバニ・フランス原子力庁長官

・米国が政府間協議にオブザーバーとして参加するとの当方の考え方を、ＥＵを代表することは出来ないものの先方は支持。
・先方より、欧州内部では２箇所のサイト候補地をおそらくは年内に一本化するよう努力していると発言。

４．エイブラハム・米国エネルギー省長官

・当方より、政府間協議に米国がオブサーバー参加を検討しても良い段階となっているとの認識を伝達。
・先方より、科学界もＩＴＥＲに好意的になっているなど米政権の中ではＩＴＥＲに対して非常に前向きになってきておりオブザーバー参加につき真剣に検討し、すぐに返答したいとの発言があった。

【その他】

５．クレバノフ・ロシア産業科学技術大臣

・日露間の科学技術協定に基づく協力を具体的な成果があがるものとするため、基本的な枠組みから再検討していくことで意見が一致。